

シャイン

— 受講のきっかけと今 —

シャイン 033号

障害のある方への支援

野村 早百合さん

会社名：社会福祉法人光明会 役職：障害者就労移行支援・指導員
資格：産業カウンセラー



スタッフ一同です。右から2番目が私です。

【受講のきっかけ】

前職である客室乗務員の職場ではメンタルを病み休職に入る人が多く、何か自分にできることはないのかと考えておりましたところ、産業カウンセラーという存在を知り受講したいと思いました。しかしシフト勤務で土日の休日はほとんどなく、また仮に土日に有給休暇が取れるのならば、優先順位としてはまず子供と一緒に過ごしたいと思い、産業カウンセラーの資格を取ることを保留しました。約10年後ストレスによるメニエール病を発症し休職に入ったことや、年々増加するメンタル起因の休職を見てきたことで、これは与えられたタイミングであると思い、2015年養成講座を受講しました。

【資格取得後の活動状況】

講座の同じクラスで、障害のある方を支援する社会福祉法人を運営する方と知り合いました。福祉の話の間うちに、産業カウンセラーの資格を障害者就労移行支援のために活用したいと考えるようになり前職を退職、2016年11月その法人に入職いたしました。

福祉とは全く縁のない生活を送って来た私にとって、本当に未知の世界であり、障害のある方とのかかわりは難しく、ご本人の気持ちを理解したつもりでも、実は全般的な外れであったということも多々あり、現

在も迷走中といった状況です。

障害があっても一般の就労を目指す方たちは、たとえ大きな問題や苦しさ、生きにくさを抱えていらしても、外見からは理解されないことが多くあります。それを理解しながらも面談等を行っている中、障害があるという事実を失念し、私の準拠枠で相手の気持ちを押し量ってしまうことがあるのです。当然、本当の思いを理解することはできず、後になってそれを知り、申し訳なささと自己嫌悪でいっぱいになることばかりです。

救いは養成講座で傾聴の基本を学んだことです。失敗しても次こそは基本（受容、共感、自己一致）を守って話をお聴きしよう、少しずつでいいから本当に寄り添えるようになりたいと思い直し、日々前向きな気持ちで努力しております。

